

## 償却資産申告書（含む種類別明細書）の作成について

魔法陣《減価償却》は「基本情報の設定」と「個別入力画面で償却資産申告に関連する入力」を行うと、自動的に「償却資産申告書」や「種類別明細書（全資産、増減申告用）」が作成できます。作成にあたり、以下の手順をご確認ください。

### 1. 申告を行う年度のデータかどうかを確認します

[基本情報]－[事業者情報]の「償却資産税提出日の申告年度」より、償却資産申告書の申告年分をご確認ください。減価償却ソフトはデータの事業年度から賦課期日「1月1日」が属する年分を割り出して、「申告年度」とします。

具体例：事業年度が平成28年1月1日から平成28年12月31日の場合

「平成27年1月2日から平成28年1月1日」を対象期間とする「平成28年度」の償却資産申告書を作成します。

種類別明細書についても「平成27年1月2日から平成28年1月1日」までの資産の増減を集計します。増加分については「種類別明細（増加・全資産用）」、減少分については「減少資産用」に集計し、印字帳票を作成します（種類別明細書は入力画面がありません）。

決算区分	<input checked="" type="radio"/> 確定 <input type="radio"/> 中間
事業年度	平 28 年 1 月 1 日 ~ 平 28 年 12 月 31 日
中間事業年度	0 年 0 月 0 日 ~ 0 年 0 月 0 日
償却費の端数処理	<input checked="" type="radio"/> 切り捨て <input type="radio"/> 四捨五入 <input type="radio"/> 切り上げ
償却可能限度額の端数	<input checked="" type="radio"/> 切り捨て <input type="radio"/> 切り上げ
改定耐用年数	(決算区分が中間、あるいは事業月数が12か月未満の場合) <input checked="" type="radio"/> 使用する(償却率を変える) <input type="radio"/> 使用しない(年間償却率による)
除売却資産の償却費	<input checked="" type="radio"/> 計上する <input type="radio"/> 計上しない
移動月の償却費	<input type="radio"/> 移動元で計上 <input checked="" type="radio"/> 移動先で計上
償却資産税提出日	平 28 年 1 月 20 日    申告年度 <b>28</b> 年度分
事業種目	不動産賃貸・倉庫業

### 2. 基本情報の各種設定と確認を行います

設定その1. [科目情報]で登録科目ごとに償却資産税種類を設定（確認）する

科目情報							
有形固定資産		土地等	建設仮勘定	無形固定資産	繰延資産(均等)	繰延資産(一時)	一括償却資産
No.	科 目 名	残存割合	限度割合	償却方法	償却資産税種類		
1	機械装置	10 %	5 %	定率法	機械装置		
2	建物	10 %	5 %	定額法	対象外		
3	工具器具及び備品	10 %	5 %	定率法	工具器具備品		
4		0 %	0 %				

画像例では「機械装置」の科目で新規資産登録を行うと、自動的に償却資産申告上の「資産の種類」が「機械装置」となります。また「建物」は申告の“対象外”と設定しています。

**設定その2. 「役所情報」で申告書の「提出先役所」を設定（確認）する（必ず設定してください）**

メニュー[基本情報]－[役所情報]で、申告書を提出する役所を設定してください。

「事業者情報」の設定「eLTAXを利用」「チェックマークなし」の場合

役所情報				
No.	役所名	償却資産申告書用		
		資産コード	抹消コード	減少明細
1	○×市	● 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 資産コードを計上 ○ 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 減少分を計上 ○ 減少後分を計上
2	△△町	● 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 資産コードを計上 ○ 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 減少分を計上 ○ 減少後分を計上
3		● 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 資産コードを計上 ○ 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 減少分を計上 ○ 減少後分を計上

「事業者情報」の設定「eLTAXを利用」「チェックマークあり」の場合  
“提出先地方公共団体”の選択も忘れずに行ってください。

No.	役所名		償却資産申告書用		
	都道府県	市町村	資産コード	抹消コード	減少明細
	提出先地方公共団体				
1	○×市		● 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 資産コードを計上 ○ 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 減少分を計上 ○ 減少後分を計上
	大阪府	大阪市			
	大阪市船場法人市税事務所（北区分）				
2	△△町		● 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 資産コードを計上 ○ 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 減少分を計上 ○ 減少後分を計上
	京都府	京都市			
	【京都市】資産税課（北区分）				
3			● 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 資産コードを計上 ○ 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 減少分を計上 ○ 減少後分を計上

**設定その3. 「事業所情報」で「事業所（資産の所在場所）」を登録し「提出先役所」と関連づける（任意の設定です）**

「事業所情報」では「事業所」と登録済みの「提出先役所」を関連づけることができます。この関連づけにより、資産入力時に事業所を入力すると、自動的に当該「資産」が「提出先役所」と関連づけられます。

なお、「事業所情報」の設定は任意です。

「事業所情報」の設定を行わない場合で、償却資産申告を行う場合は後述の「4. [償却資産税]タブから直接入力する」をご参照ください。

事業所情報				役所情報				
No.	事業所名	役所No.	役所名	No.	役所名	償却資産申告書用		
						資産コード	抹消コード	減少明細
1	事業所1	1	○×市	1	○×市	● 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 資産コードを計上 ○ 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 減少分を計上 ○ 減少後分を計上
2		0		2	△△町	● 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 資産コードを計上 ○ 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 減少分を計上 ○ 減少後分を計上
				3		● 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 資産コードを計上 ○ 資産No.を計上 ○ (ブランク)	● 減少分を計上 ○ 減少後分を計上

### 3. 個別入力画面での入力箇所と償却資産申告上の設定確認

「設定その3」で「関連付けた事業所」を資産の個別入力画面の“事業所”に入力すると、「資産」と「提出先役所」を関連付けることができます。

メニュー[資産入力]－[固定資産]－[個別入力画面]－[償却資産税タブ]を開いて、申告の設定を確認してください。

The screenshot displays three windows. The top-left window, '事業所情報', contains a table with columns 'No.', '事業所名', '役所No.', and '役所名'. The first row shows '事業所 1' and '〇×市'. The top-right window, '役所情報', contains a table with columns 'No.', '役所名', '償却資産申告書用', and '減少明細'. The first row shows '〇×市'. The bottom window, '有形固定資産-機械装置', is the main input screen. It has fields for '資産No.', '資産名称', '事業所', and '役所'. The '事業所' field is set to '1 事業所 1' and the '役所' field is set to '1 〇×市'. There are also checkboxes for '基本入力', '償却・減少処理', '圧縮記憶', '減損等処理', '月次償却', '別表十六', and '償却資産税'.

#### 個別入力画面[償却資産税タブ]での確認箇所

以下の項目をご確認ください。

- ・「役所」に「提出先役所」が表示されていますか
- ・「税種別区分」に「資産の種類」が表示されていますか

上記項目に表示がなければ、「設定その1」から「設定その3」を見直していただくか、直接入力により設定してください。直接入力につきましては、後述する「4. [償却資産税]タブから直接入力する」をご参照ください。

#### 4. [償却資産税]タブから直接入力する（必要に応じて）

「事業所情報」は使わない場合、「資産」を「提出先役所」と関連づけることができません。  
また、申告対象の科目のうち、ある資産だけ申告の“対象外”とする必要が生じるかもしれません。  
以上のような場合は、[償却資産税]タブから各項目に直接入力に対応してください。

##### 4-1. [個別入力画面]を開く

入力 Ctrl+L	画面分割 Ctrl+B	表示設定 Ctrl+H	新規 Ctrl+M	<b>個別入力 Ctrl+I</b>	科目変更 Ctrl+K	並べ替え Ctrl+T	範囲指定 Ctrl+R	実施率 Ctrl+J	減損選択 Ctrl+G	
科目名	番号	資産No.	枝番	資産名称	事業所	部門	取得年			
機械装置	1		0	機械装置その1			平27・			
建物	2		0				平18・			
工具器具及び備品										

##### 4-2. [償却資産税タブ]を開く

画像例では「提出先役所」との関連がない状態ですので「提出先役所」の設定を行います。

資産 No.	- 0	事業所	0
資産名称	機械装置その1	部門	0

基本入力	償却・減少処理	圧縮記帳	減損等処理	月次償却	別表十六	償却資産税
資産名称	<input type="checkbox"/> 入力	機械装置その1				
資産コード	<input type="checkbox"/> 入力					
抹消コード	<input type="checkbox"/> 入力					
役所等						
役所	<input type="checkbox"/> 入力	0				
税種別区分	<input checked="" type="checkbox"/> 入力	機械装置				
供用可能年月日	<input type="checkbox"/> 入力	平 27・4・1				
耐用年数	<input type="checkbox"/> 入力	5 年				
残存率		0.631				
評価額						
平 28 年 1 月 1 日 評価額		0				
控除額の加算		0				
平 29 年 1 月 1 日 評価額		257,132				
課税標準の特例						
課税標準の特例		0 / 0				
特例適用後の評価額		0				
摘要						
摘要（増加資産・全資産）						
摘要（減少資産）						

##### 4-3. “入力”チェックボックスにチェックマークを入れる

項目「役所」の“入力”にチェックマークを入れます。入力欄があらわれますので、「提出先役所」を選んでください。設定後“入力”のチェックマークを入れたままにします。

役所等						
役所	<input checked="" type="checkbox"/> 入力	0	○×市			
税種別区分	<input type="checkbox"/> 入力	機械装	○×市			
供用可能年月日	<input type="checkbox"/> 入力	平 2	△△町			
耐用年数	<input type="checkbox"/> 入力	5 年				
残存率		0.631				

「資産の種類」についても“入力”チェックボックスにチェックマークを入れて変更をおこなうことができます。

役所等	
役 所	<input checked="" type="checkbox"/> 入力 1 ○×市
税 種 別 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 入力 対象外
供 用 可 能 年 月 日	<input type="checkbox"/> 入力
耐 用 年 数	<input type="checkbox"/> 入力
残 存 率	
評価額	
平 28 年 1 月 1 日 評 価 額	0
控 除 額 の 加 算	0

----- 《CHECK》 -----

- ・魔法陣《減価償却》ソフトは修正申告ができません
- ・種類別明細書（増加資産・全資産用）、および種類別明細書（減少資産用）を直接編集することはできません。